

ブッパータール空中鉄道の安全性認定試験

原題：Sicherheitserprobung und Zulassung von ETCS bei der Wuppertaler Schwebbahn

- 著者・所属：Christian Kindinger；WSW Wuppertaler Stadtwerke 社、BOStrab 副運用マネージャー・運行管理責任者、ドイツ
Hans Kron；独立信号安全評価者、ドイツ
- 誌名：SD: SIGNAL+DRAHT Vol.112 No.1+2 (2020-1+2) pp.28-35
- 言語：独語 / 英語

空中鉄道(懸垂式モノレール)にドイツ最初の自動閉そく設置が設置されてから118年、そして「ブッパータール空中鉄道の新しい信号」の記事が本誌に掲載されてから56年後、今回は3回目の信号のアップグレードが行われた。ETCS レベル2+ とポジティブ列車検知が導入された。特別な課題として、地元の公共交通機関に固有の適応、EN 50129にもとづくシステム検証と TRStrab SIG ZA にもとづ

くサイト受け入れ試験、および EN 50129 にもとづく安全性認定試験の相互作用が含まれる。サービスの中断を最小限に抑えて試験しなければならなかった。空中鉄道での営業運転は安全当局の承認にもとづいて、2019年9月2日に新しいオペレーティングシステムの下で開始された。現在、パフォーマンス、信頼性、可用性および保守性を監視するために、いわゆる「RAM フェーズ」が進行中である。



駅接近時に DMI (Driver-machine interfaces) に表示されるブレーキ曲線

出典 SD: SIGNAL+DRAHT



2つの空中鉄道ワークステーションと大きなビデオ壁面を備えた運用管理センター

出典 SD: SIGNAL+DRAHT